

◆この申出書は、※の注意事項を確認の上、必要があるときのみ提出してください。

事件番号 令和 年（家 ）第 号

非開示の希望に関する申出書

令和 年 月 日

氏 名 _____ 印

次の書面は、下記1の事由に該当し、下記2の理由・事情があるため、開示をしないことを希望します。

文書名 _____

記

1 該当する事由にレ印を付けてください（複数可）。

- 未成年者の利益を害するおそれがある。
 - 当事者の
 - 第三者の
- | | |
|---|---|
| } | <input type="checkbox"/> 私生活若しくは業務の平穩を害するおそれがある。 |
| | <input type="checkbox"/> 私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者が社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれがある。 |
| | <input type="checkbox"/> 私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者の名誉を著しく害するおそれがある。 |
- その他特別の事情がある。

2 具体的な理由や事情を記載してください。

注
意
事
項

※1 この申出書は、裁判所に提出する書面の中に相手に知られたくない情報があり、その情報を裁判所には知らせる必要があるときに、提出を検討してください。

※2 非開示を希望する書面ごとに本申出書を作成し、本申出書の次に当該書面をステープラー（ホチキスなど）で綴じるなどして、本申出書と当該書面を一体のものとして提出してください。

※3 文書名には、標題がある場合は標題を記載し（例 「送達場所等の届出」）、標題がない場合は作成日付等で特定してください（例 「令和●年●月●日付け「私は」で始まる書面」）。

※4 書面の一部について非開示を希望する場合は、文書名でその部分を特定した上で（例 「陳述書」の2頁目8行目から10行目）、当該書面の該当箇所にマーカーで色付けしてください。

※5 本申出書は、閲覧謄写の申請があった際に、裁判官が許可するか否かの判断の参考とするためのものです。非開示を希望しても、裁判官の判断により開示される場合もあります。